

平成21年度藤沢市相互提案型協働モデル事業申請一覧表

【市提案協働事業】

No.	事業名	団体名	企画概要	事業期間	H22年度 事業費 総額	H22年度 市負担金 申請額
1	応急手当普及啓発推進事業	NPO法人 ふじさわ救命普及 推進会	本市では、平成6年度から市内のどこで傷病者が発生してもその場に居合わせた人の中の5人に1人は応急手当の技術取得者がいる様に、市民人口の20%（約80000人）を目標に応急手当の普及啓発事業を推進しています。更に平成21年度からは市内全中学校（19校）を対象とした応急手当教育を実施致します。本事業は消防職員と市民活動団体が協働し一般市民を対象とした普通救命講習及び中学生を対象とした応急手当教育を実施し、応急手当の普及啓発を推進するものです。	H22年度 ～ H24年度	3,200,000	3,178,000
2	農商校連携 地域食材理解推進 普及事業	長後塾	日本を取り巻く食環境は、輸入食材を使った加工食品であふれています。このような現状を変えるためには新鮮で安心安全、且つ、地元で生産された食材、つまり目の前にある生産物を使用した食品の必要性が問われています。 今回の事業は、子どもの食生活を考え、身近な食べ物の中からお弁当の分野に絞りました。弁当は楽しく美味しくバランスの取れた食の究極の姿です。子ども達の学習意欲を高め、脳の活性化を助ける食材を使った「脳活弁当」の開発を目指し、生産現場の見学会も実施し農水産業の大切さを伝えます。 長後塾は、黒米の試食会などの経験を踏まえ、食生活の見直しを推し進め、藤沢の新たな道を模索していきたいと思ひます。	H22年度 ～ H24年度	1,040,000	1,000,000
		NPO法人 地域魅力	生産と消費が同じ地域で行われることが多かったかつての時代に比べ、現代の都市における生活ではそれらがなかなか分りづらく、同時に、自分の住む地域で何が作られているかを知らないことも多い。本事業では、子どもたちが、楽しみながら地元の食材に触れる機会として計3回のレシピコンテストを実施し、優秀メニューは学校給食への採り入れや、飲食店、コンビニエンスストアでの提供を行う。 なお、本事業の実施にあたっては、地域情報誌「フジマニ」の協力を得ることとし、藤沢の著名人や地域の元気な店舗とのネットワークを最大限活用しながら、幅広い藤沢市民に対し、地域食材の理解推進と地産地消の促進を図っていく。		1,000,000	1,000,000
3	健康メッセ (仮称)の 協働開催事業	NPO法人 湘南ふじさわ シニアネット	市民の健康づくりには、行政の施策とともに、市民活動やボランティア活動など日ごろの地域で支える体制の強弱が大きく関係してきます。 今年度策定の市健康増進計画においては、この市民活動団体やボランティア活動を支援し、活性化していくことが今後の計画の推進基盤として重要なことと考えます。 そこで、市民との協働による健康づくりの推進を目的に、「健康メッセ(仮称)」を開催して、健康づくりに関する普及啓発、市民活動団体等の紹介や日頃の活動発表、情報交換、意見交換等の場を設けるものです。 なお、本事業はNPO法人「湘南ふじさわシニアネット」が、健康サークル「健康応援し隊」の協力を得て行うものです。	H22年度 ～ H24年度	540,000	490,000

No.	事業名	団体名	企画概要	事業期間	H22年度 事業費 総額	H22年度 市負担金 申請額
4	防犯対策システム 運営事業	NPO法人 地域魅力	<p>これまで協働事業として運営を行ってきた防犯対策システムの安定した継続運営を行い、地域の安全安心のための共助の仕組みを現状以上に発展させる。</p> <p>警察署から提供された防犯情報や、市民から投稿された防犯情報の編集と配信、データの整理、HELPメールの確認体制などの日常業務に加え、かけつけ協力員、地域の防犯ボランティアとの共同研修を実施し、システムを軸とした地域防犯の促進のための企画・提案を行っていく。</p> <p>また、防犯情報を携帯メールだけでなく電子会議室やポータルサイトを使って情報発信していくと共に、電縁マップの「防犯情報マップ」に情報蓄積を行い、登録者以外にも情報が届くよう多様な提供方法を模索していく。</p>	H22年度 ～ H24年度	1,500,000	1,500,000
		NPO法人 湘南ふじさわ シニアネット	<p>「安全・安心な生活環境を構築」するため、GPS機能付き携帯電話を活用した“防犯対策システム”を利用し、市民・企業・警察・学校・行政による防犯情報の共有とSOS&HELPメールの仕組みをサポートする下記業務を遂行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯情報データベースの日常管理 ・市民から投稿された防犯情報の整理・配信 ・HELPメール発信・確認 ・報告書作成・提出 ・かけつけ協力員に研修・意見交換を実施(年3回を目標に) ・行政と定期的な打合せを実施し、システムの改善案を検討 <p>要請があれば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の防犯関連団体・自主防犯組織メンバーとの意見交換・啓蒙活動の協力 ・かけつけ協力員の増員・増強を目指した広報活動の協力 	H22年度 ～ H24年度	1,556,300	1,500,000
5	緑地(里地里山) 保全活動事業	NPO法人 藤沢グリーン スタッフの会	<p>過去3年、協働事業を実施、会は組織的、人的に強化、緑地保全活動の市民団体として大きく成長した。新たに3年間、20箇所の市有緑地の保全活動を実施するに当たり、経験緑地については、年間継続管理を導入し新たな試みを始める。環境調査も強化、緑地特性を把握、適正な保全計画策定材料の提供を行なう。事業を推進する人的強化策である里山保全ボランティアリーダー養成事業を更に改善強化、実施する。</p> <p>また、緑地保全を目指している市民活動団体に対する支援も積極的に進める。市有緑地を市民が保全する将来像を描きながら、緑の普及啓発を行い、市民参加型ボランティア体験活動、子どもたちへの自然観察会などを実施する。</p>	H22年度 ～ H24年度	4,600,000	4,600,000
合計			5事業－7団体		13,436,300	13,268,000

【市民活動団体提案協働事業】

No.	事業名	団体名	企画概要	事業期間	H22年度 事業費 総額	H22年度 市負担金 申請額
1	湘南工科大学 を活用した 職業訓練事業	ふじさわ団塊塾	1. 事業目的 (1) 景気悪化に伴い、勤労者の解雇が激増している。また、団塊世代の戦力化対策も社会問題となっている。 (2) 本事業の目的は、職業講座を開設して彼等に技能を付与し、就業のチャンスを広げることである。 (3) さらに、湘南工科大学を事業の場として活用することで、官学民協働による大学の活性化が期待できる。 2. 事業内容 (1) 事業は、需要の多い「第二種電気工事士」の資格取得を目標とする講座の開催である。 (2) 同資格の試験では、技術知識のペーパーテストに加えて、電気工事に伴う実技試験が行われる。 (3) 湘南工科大学では、学内で同様の講座を実施しており、受験に必要な教授陣と工作実習設備が整っている。	H22年度 (単年度)	1,193,700	993,700
2	地元アーティスト による高齢福祉 施設訪問 コンサート安定 供給化事業	湘南サウンドコミュニ ケーションズ	「湘南藤沢まちかど音楽祭」に出場した地元の若いアーティストらによる、市内各高齢者福祉施設向けの無料慰問コンサートを実施し、これを定期的に開催するための基礎づくりとして次の業務を行います。機材の購入、ホームページの作成、コンサートの実施、システム作り、市場調査、周知活動、賛助会員の募集などまた、本事業は音楽祭の終了後、市民の目に触れる機会の少なかった音楽祭出身のアーティスト達に活動の場を提供するとともに、彼等の元氣な歌声を音楽祭に係わり辛かった施設のお年寄りに届けることを目的とし、地域色に富んだ音楽文化の振興と世代交流の機会に溢れる個性豊かな暖かい街づくりに寄与する取り組みです。	H22年度 (単年度)	1,867,130	1,800,000
3	傾聴ボランティア 育成事業	NPO法人 シニアライフセラピー 研究所	私達は、藤沢市相互提案型協働モデル事業で「傾聴ボランティア派遣事業」を3年間継続させています。今年も大盛況です。 私達は、人の話に十分に耳を傾ける「傾聴」を通して、豊かなライフサイクルを地域に築きます。傾聴の学びを通して、3つの効果が期待できます。 ① 人間的な成長を促します。 ② ボランティアする意義の気づきを促します。 ③ 仲間づくりを促します。 傾聴を学ぶことは、高齢者に限らず、老若男女、障害の有無、国籍などを問わず、すべての人が対象です。誰もがいつでも学び、誰もが学んだことを地域に返し、その恩恵を誰もが受けることができるような、そんな豊かなライフサイクルを築いていくことを目標としていきます。	H22年度 (単年度)	1,607,100	1,103,100
4	傾聴ボランティア 派遣事業	傾聴連絡会	皆さんの周りにも、「うつ」の方、「引きこもり」の方、増えていませんか？ 日本の自殺率は世界第3位。中でも特徴的なのは75歳以上の自殺率が特段に高くなっていることです。豊かな日本で、恥ずかしいことだと思いませんか？ 当団体は独居高齢者などの自宅等に傾聴ボランティアの派遣を行うことで、「利用者」のこころの負担を軽減させることにより、心身の健康を促し、「ボランティア」は感謝という精神的な報酬をもらい活性化し、「行政」は介護予防を促進できるといふ3者にとって相乗効果のある事業を行います。 「他人事ではない！地域の福祉を変えなければ！」という市民の声や、人生の集大成を孤独に亡くなった方の想いも背負っています。	H22年度 (単年度)	1,626,000	1,626,000
5	インターネットメタボ 予防・解消 健康づくり事業	NPO法人 湘南ふじさわ シニアネット	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)にならないためには、毎日の食生活に注意することや継続的に運動する習慣をつけることが大切である。本事業では、インターネットを活用し仲間と励ましあい、時には競い合いながら学べる健康コミュニティを作り、多くの人が長期にわたって継続できるメタボ予防・解消プログラムを提供する。 本事業では1)インターネットを活用した食事・運動記録と交流、2)健康教室の2つを組み合わせ実施する。健康教室では運動教室と栄養講座を実施する。	H22年度 (単年度)	1,155,670	975,670

No.	事業名	団体名	企画概要	事業期間	H22年度 事業費 総額	H22年度 市負担金 申請額
6	緑と景観を守る「子供まちづくり隊」創設のため、市民を対象にした「みどりの講座」の実施で「市民景観アドバイザー(中級)」を養成する事業	鶴沼の緑と景観を守る会	<p>1. 目的</p> <p>① 文化・景観・みどりを守ることの大切さを学習し、景観問題に対応する「市民景観アドバイザー」を養成。終了者に市民力を示す「みどりの手帳*」を配布。*学習履歴、ボランティア参加記録、緑に関する情報を記載した携帯用の手帳</p> <p>② 緑のバトロールで地域が抱える問題を解決し、美しいまちなみを次世代に伝える「子供まちづくり隊」の定着。</p> <p>2. 内容</p> <p>① 「みどりの講座」を開設し、行政、まちづくり、みどりの専門家の指導により初級(21年度実施中)～上級の3段階で学習。</p> <p>② 体験学習(緑の保存と育成、子どもの景観絵画の募集)の実施。</p> <p>③ 緑の経営(景観条例、地球温暖化)の学習。</p> <p>④ 緑のバトロールにより日常的問題を解決する。</p>	H22年度 (単年度)	2,735,017	1,945,673
7	ジュニアライフセービング教室事業	NPO法人 西浜サーフライフセービングクラブ	<p>藤沢市は全国有数の海水浴場を有し、年間400万人を超える海水浴客が訪れている。しかし2007年には2名の中学生が溺死する事故が発生するなど、子供を含め多くの水難事故が発生している。また海に近接しているという立地にありながら、小中学生が海について学ぶ機会が非常に少ない状況にある。</p> <p>そこで、ジュニアライフセービング教室では、海という誇るべき資産を活かし、小中学生を対象とした、海の知識を学ぶプログラムを実施し、水難事故を減少させることを目的としている。事業内容は、希望する小中学校に基本的な海の知識及び安全管理に関する講演又はプールでの講習を18回開催する。</p>	H22年度 (単年度)	1,198,000	1,198,000
8	藤沢の「食」によるシティプロモーション実践事業	NPO法人 地域魅力	<p>藤沢市の「食」によるシティプロモーションについて、平成21年度に実施した調査研究をふまえて、市内の様々な人々とともに藤沢に相応しい商品及び体制による実施段階に入る。</p> <p>一連の本事業のねらいは、藤沢の魅力を「食」という媒体を通じて強くアピールし、市内外に多数の藤沢ファンを誕生させることであり、これにより、①市外から藤沢を訪れる人々の増加により、農業水産業や観光分野を中心とした地域経済の活性、②多くの市民が、自分のまちに対して興味関心や誇りをさらに持つことによる、「市民力」「地域力」の強化を目的とする。</p> <p>本年度は、このためのツールとなり得る「食」メニューの商品化と販売・販促ツールの作成及び戦略検討を行う。</p>	H22年度 (単年度)	2,086,460	1,500,000
9	藤沢スポーツポータルサイト事業	NPO法人 湘南ふじさわシニアネット	<p>藤沢市内の多くのスポーツ団体に参加を願い、総合的で魅力的な地域スポーツポータルサイトを構築。多くの市民にスポーツ団体の活動状況を知ってもらい、スポーツへの関心をたかめ、参加する人を増やし、健康で明るい地域社会の形成、健全な青少年の育成に役立てる。具体的には、下記サービスを安価に提供して、魅力的で機能性の高いサイト構築を可能とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体ホームページ開設サービス ・団体内コミュニケーション支援サービス ・スポーツ大会運営支援サービス ・トーナメント式/リーグ戦式/複合式等 ・携帯電話からの記事投稿、試合結果登録等 	H22年度 (単年度)	3,255,000	2,000,000
合計			8団体-9事業		16,724,077	13,142,143